

コミュニケーション研修

(株) プレスタイム九州 代表取締役 米澤 金作 氏

日常業務を処理する過程で、すべての仕事に関わるのが関係者とのコミュニケーションである。通常業務での会話や定例会議は言うに及ばず、業務目標の設定に当たって上下膝をつき合わせの話し合い、朝礼や全体会議などでの指示や命令、指示や命令を実現するための動機付けのアプローチ、課題解決のために集めたメンバーを解決に向けて積極的な態度で参画させるための働きかけ…など、管理・監督者のコミュニケーションの発揮の仕方が適切かどうかは仕事の成果に大きくかかわっているのが現代の特色といつてよい。管理・監督者のコミュニケーションの質がまさに仕事の管理の質にダイレクトにかかわる時代ともいえる。このことは単に管理・監督者のみならず、仕事に従事する一般職員についてもその必要性はいわずもがなである。

コミュニケーションの本質は何かというと「お互いが共通のものを分け合ってもつ」ということ。従って、良いコミュニケーションとは、例えば上司が部下に伝えたい情報が上司の伝えたいだけの質と量で部下に伝わることを意味し、その逆の流れもまた同様である。もしそうでなければ、コミュニケーションは行動としては試されたが十分に目的が達成された、つまりコミュニケートされたとはいえないことになる。業務を円滑に推し進めて目標を達成するためにはメンバー全員がお互いに良いコミュニケーションを心がける必要がある。

研修では、(1) コミュニケーションとは何か (2) 対面でのコミュニケーションカアップのための3つのスキル (3) 4つのレベルでの対応力 (4) アサーティブなやり取り…といった項目について事例研究やグループワーク等を通して学びを深めていただく。

日常業務の中でぜひ活用をお願いしたい。一人でも多くの方のご参加を希望します。

大分県出身

昭和46年4月 (株) 大分銀行入行
平成2年10月 大和銀行(現りそな銀行) 出向後、各信託銀行に派遣
平成3年8月 総合企画部信託業務準備事務局長、その後本部各部を経て、津久見支店長
平成13年4月 三和(株) およびサンヨーOA 大分常務取締役、その後専務取締役
平成18年3月 (株) プレスタイム九州 代表取締役に就任

現在に至る

(所属)

長崎県立大学 非常勤講師(キャリアデザイン講座担当) 大分県教育センター外部評価委員
(株) 大銀経済経営研究所 客員研究員

